



築地小だより

学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail tsuiji-es@tainai.ed.jp

令和4年10月7日 築地小学校発行

「頑張れ」か「エンジョイ」か

教務主任 川崎 英樹

週末が楽しみな今日この頃です。新潟のスポーツシーンを盛り上げているプロサッカーチームのアルビレックス新潟が「J2 優勝」と「J1 昇格」をかけて闘っていて、間もなく今シーズンの「J1 昇格」が決まるからです。(週明けにアルビ大好き男子と学校で試合結果の話をするのもいつも楽しみにしています。)

今のアルビサッカーのスタイルを築いたのが、スペイン出身のアルベルト元監督です。そのスタイルで最も重要視しているのは「状況判断」だといいます。選手自らが適切な判断をし、自分の特長(長所)を発揮できることが、今のアルビの強さにつながっています。自律した選手が多いのもチームの特長です。

スペインはサッカー強国として知られ、FC バルセロナというクラブの名前を聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。スペインのプロサッカーリーグには、現在日本人選手も所属し、活躍しています。

私自身、子どもの頃から好きなサッカーに携わっていて、今では地域のスポーツ少年団の指導もさせてもらっています。スポーツ指導の現場で、さまざまな指導法やスタイル、考え方に触れることがあるのですが、スペインのあるクラブの育成組織に関わっている方の話を紹介します。

『子ども達が心地よく、かつ失敗できる環境を提供することが学びのチャンスとなる。そのために指導者は、“失敗しないように導く”のではなく、失敗を恐れずに踏み出し、たとえ失敗してもそれを糧にできる子どもを育てることが重要である。それが結果的に、本当に自律した選手が育っていく環境を作り出せる。』

サッカーは失敗(ミス)が多いスポーツと言われます。ミスが前提のスポーツとも言えます。プロの試合でもミスは起きます。一つのミスに落ち込まず・あきらめず、チャレンジを継続することでチャンスやナイスプレーが生まれます。その選手の姿から、私達は喜びや感動、応援したくなる気持ちになるのだと思います。

また、大人の子どもへの声のかけ方について、次のようにも話しています。

『スペインの子どもたちは、大人から「エンジョイ」と言われて育っています。一方、日本では「頑張れ」と言われることが多いのではないのでしょうか？そこには、「もっとできるだろう、もっとやりなさい。」という意味が含まれていると思います。しかし、子どもたちは、どの子も必死にがんばっています。必要な言葉は「頑張れ」ではなく、“勝っても負けても苦しくても楽しくても、とにかく一瞬一瞬を味わって”というメッセージです。』

「エンジョイ」の言葉を浴びてきている選手は、底力を出し切ることができ、圧倒的に強いともいいます。それは指導する大人が、「サッカーが全てではない。サッカーの向こう側に世界が広がっている。」ということメッセージとして伝えているからだそうです。この話から、私自身の今までの指導を見直しました。

スポーツに限らず、好きなこと・得意なことに取り組んでいる子ども達にたくさん「エンジョイ」と声をかけたいです。そして「あなたには可能性と素敵な未来がある。」ことをメッセージとして伝えたいと思います。

これからも地域に根差したスポーツクラブを応援し続けていきたいと思っています。皆さんも機会があれば、家族やお友達といっしょにビッグスワンに足を運んでみてはいかがでしょうか。

ふるさとを愛し、仲間と協力してたくましく自分の道を切り拓いていく子ども

～ 築地小学校キャリア教育の取組 ～

キャリア教育担当 岩城 拓郎

「ふるさとを愛し、仲間と協力して、たくましく自分の道を切り拓いていく子ども」は、築地小学校・中学校コミュニティ・スクールで設定した目指す子ども像です。キャリア教育を教育課程の中核に位置付け、各教科や領域の学習と関連させながら教育活動を進めています。

このキャリア教育をとおして、**子どもたちが夢や目標をもち、仲間や地域の人たちと協力しながら自立に向けた力を身に付けるとともにふるさと築地への郷土愛を育むこと**を目指しています。地域の素材や人材活用のため、中核となる地域連携コーディネーターが、松の子パートナーズをはじめとする地域の方々や学校の教育活動をつなぐことにより、充実した活動を展開することができています。その一部を紹介します。

<生活科「なかよくなろうね小さなともだち」：1年生>

1年生は、9月に樽が橋遊園に行き、様々な生き物を見学したり、触れ合ったりする活動をしました。見たり聞いたりする活動を通して、自分たちの身近にある施設やそこで働く人のことを知り、そのよさを感じることができました。



<生活科「まち探検」：2年生>

2年生は、9月に地域の商店や会社、施設等を訪問し、仕事の現場を見学したり、働く人にインタビューしたりしました。事前に見たいことや質問したいことをグループ毎に考え、当日のまち探検に臨みました。身近な所で働く人やその仕事について、見たり聞いたりする活動を通して、自分たちの住む地域を知り、そのよさを感じることができました。



<総合「地いきじまん探検」：3年生>

3年生は、総合的な学習の学習で、地域についての学習をしています。4月にチューリップフェスティバルを訪問し、地域コーディネーターの近さんから、チューリップフェスティバルの魅力について教えていただきました。貴重な体験をとおして、地域の歴史や伝統に触れ、地域の宝物を発見することができました。



<総合「胎内市の魅力さがし」：4年生>

4年生は、総合的な学習の時間に、「胎内市の魅力」を探す学習で、市内のさまざまな施設や特産物、地域の歴史を調査しています。9月には天文館の職員の方をお呼びして、胎内星まつりの魅力について教えていただきました。初めて知る知識や体験は、児童にとって新鮮で、胎内市の魅力に触れることができました。



5年生は「ふるさと体験学習」、6年生は「自分と仕事」など、各学年のテーマに合わせた学習活動を行っています。地域ボランティアやさまざまな職業の方などの人との触れ合いや、ふるさとの良さやさまざまな仕事に関する体験的な学びを継続的・発展的に行い、**子どもの未来に向けた社会的・職業的な自立と郷土愛を育みたい**と考えています。

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果のお知らせ

研究主任 池野 淳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度の当校の結果の概要をお知らせいたします。この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を主な目的として、小学校6年生児童を対象に行っています。(質問紙は、生活習慣や学校環境に関するものとなっています。)

	国語	当校	算数	当校	理科	当校
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	◎	A 数と計算	○	「エネルギー」を柱とする領域	○
	A 話すこと・聞くこと	○	B 図形	◎	「粒子」を柱とする領域	◎
	B 書くこと	◎	C 変化と関係	○	「生命」を柱とする領域	◎
	C 読むこと	○	D データの活用	○	「地球」を柱とする領域	◎
	知識・技能	◎	知識・技能	○	知識・技能	◎
	思考・判断・表現	○	思考・判断・表現	○	思考・判断・表現	○

＜教科に関する調査結果＞平均正答率が全国と比べて大きく上回った…◎／全国と比べて上回った…○

国語・算数・理科ともに、すべての領域で全国平均を上回る結果となりました。また、基本的な知識はもちろんのこと、記述式の問題や活用問題に対しても力を付けてきたことが分かります。今後は、身に付けた知識を活用する力をさらに伸ばしていきたいと思えます。

＜質問紙の意識調査の結果＞

質問紙による意識調査は、69項目の設問がありました。回答結果について、全国平均との大きな差異があるものについて、いくつか取り上げます。

学校だからこそできる「協働的な学び」を大切にしていきます。

肯定的回答が、全国平均を大きく上回った項目に、「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。」「学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。」がありました。これからも、多様な他者との協働的な学習や他者との話し合いを通して考えの相違、折り合いをつける学習などを大切にしていきます。

地域の良さを感じられる教育活動を大切にしていきます。

肯定的回答が、全国平均を下回った項目に、「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」があります。感染症拡大防止対策として、地域行事が縮減・中止になっているため、参加できる地域の行事そのものが少なかったものと考えます。一方で、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはありますか。」は、全国平均を大きく上回っています。「地域や社会をよくしたい」と考える子どもの意識の根底には、「郷土を愛する」子どもの姿があるものと考えます。これからは、総合的な学習の時間や生活科の学習を中核とし、郷土愛を育み、地区の良さを感じられるような教育活動を意図的・継続的に進めていきます。

タブレットを、積極的に活用していきます。

「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PCやタブレットなどのICT機器を使っている。」頻度の回答は、全国平均より利用頻度が低くなりました。これは令和4年4月現在の結果であり、5月以降は、社会、理科、外国語などの教科を中心に、タブレットを積極的に使用しています。また、6学年の子どもに限らず、どの学年でも同様な傾向に見られます。これからの社会では、情報モラルや情報リテラシーについては、学校でも指導していきます。ご家庭でも、お子さんの発達段階に応じて、指導をお願いします。

最後に

子どもたち一人一人に確かな学力を育てていくためには、学校における教育活動と家庭の協力・支援の両輪が欠かせません。今後とも、家庭と学校との連携を密にして、子どもの力をより一層伸ばせるように努めて参ります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

9月15日（木） 6年生親善陸上大会



男子 100m	2位	(14 秒 50)	女子 100m	3位	(16 秒 10)
男子 80mH	5位	(16 秒 90)	女子 100m	10位	(16 秒 90)
男子走高跳	1位	(123 cm)	女子 80mH	2位	(16 秒 50)
男子走幅跳	4位	(351 cm)	女子 800m	9位	(3 分 10 秒 10)
男子走幅跳	5位	(336 cm)			
男子 1500m	3位	(5 分 34 秒 30)	男子リレー	4位	(1 分 00 秒 00)
男子 1500m	8位	(6 分 04 秒 50)	女子リレー	5位	(1 分 04 秒 70)

10月5日（水） 校内マラソン記録会～ご声援ありがとうございました！～



～ お 願 い ～

先日の台風接近による休校の際、「Home&School」での通知が「未読」の方が複数いらっしゃいました。今後も重要な連絡を通知しますので、以下の点についてご注意ください。

- ★ 「Home&School」のアプリをスマホのホーム画面の見えやすい場所に表示し、新規通知の有無がすぐに分かるようにしておいてください。
- ★ 登録用紙が再度必要な方は、学校までお知らせください。（登録用紙を再発行すると、これまでの登録データがすべて消去されます。ご家族の登録等も再度行う必要があります。）
- ★ 休校や行事の可否決定等は、「Home&School」だけでなく、築地小学校ホームページでもお知らせしています。通知が受信できない場合は、ホームページでもご確認ください。

築地小学校ホームページをご覧ください！

<https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp>

こちらのQRコードから→

